

青森県経済統計報告

平成 21 年 5 月 8 日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成 21 年 4 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,385,598 人（対前月 5,566 人 減少）
自然動態	513 人減少（出生者数 814 人、死亡者数 1,327 人）
社会動態	5,053 人減少（転入者数 4,158 人、転出者数 9,211 人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済は、一層厳しさを増している。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の 平成 21 年 2 月の青森県鉱工業生産指数(平成 17 年=100)は、季節調整済 … 2
生産動向 指数が 81.8 で、前月比 5.2%の低下となり、2 ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 75.4 で、前年同月比 33.8%の低下となり、5 ヶ月連続で前年同月を下回った。
- (2-2) 雇用情勢 平成 21 年 2 月の定期給与は 221,875 円で前年同月比 3.3%減となった。 … 3
総実労働時間は 151.3 時間で前年同月比 2.9%減、所定外労働時間は 7.6 時間で前年同月比 22.4%減となった。
平成 21 年 3 月の有効求人倍率（季節調整値）は 0.28 倍で、前月と同水準となった。
- (2-3) 物価 平成 21 年 3 月の青森市消費者物価指数（平成 17 年=100）は、総合指数が … 4
100.4 となり、前月と比べ 0.2%の上昇、前年同月と比べ 0.9%の下落となった。
- (2-4) 個人消費 平成 21 年 2 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 128 億 5 千 1 百万 … 5
円で前年同月比 4.4%減と 3 ヶ月連続で、既存店ベースでは 5.1%減と 7 ヶ月連続で減少となった。
平成 21 年 3 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 5,647 台で、前年同月比 17.7%の減となり、8 ヶ月連続で前年を下回った。
- (2-5) 住宅建設 平成 21 年 3 月の新設住宅着工戸数は 495 戸で、前年同月比 59.5%増とな … 6
り、前年を上回った。
- (2-6) 電力 平成 21 年 3 月の大口電力使用量は 1 億 8,884 万 kWh で、前年同月比 14.4% … 6
使用量 減となり、4 ヶ月連続で前年を下回った。

（3）景気動向指数（平成 21 年 2 月分）…………… 7

先行指数	38.9%（12 か月連続で 50%を下回った）
一致指数	33.3%（4 か月連続で 50%を下回った）
遅行指数	16.7%（7 か月連続で 50%を下回った）

（4）青森県景気ウォッチャー調査（平成 21 年 4 月期）…………… 8

3 ヶ月前と比べた景気の現状判断 D I ……24.5（前期比 11.5 ポイント増、7 期連続で 50 を下回る）
3 ヶ月後の景気の先行き判断 D I ……37.5（前期比 20.0 ポイント増、7 期連続で 50 を下回る）

1 青森県の推計人口（平成21年4月1日現在）

【概況】

平成21年4月1日現在の本県推計人口は、1,385,598人で、前月に比べ5,566人の減少となった。

○自然動態

出生者数が814人、死亡者数が1,327人で、513人の減少となった。

○社会動態

転入者数が4,158人、転出者数が9,211人で、5,053人の減少となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数	増減数			
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
20.4.1	1,398,130	657,775	740,355	-0.451%	-6,332	-483	844	1,327	-5,849	4,045	9,894
20.5.1	1,397,463	657,462	740,001	-0.048%	-667	-531	818	1,349	-136	4,218	4,354
20.6.1	1,396,659	656,939	739,720	-0.058%	-804	-272	936	1,208	-532	1,299	1,831
20.7.1	1,395,953	656,474	739,479	-0.051%	-706	-357	862	1,219	-349	1,366	1,715
20.8.1	1,395,716	656,395	739,321	-0.017%	-237	-267	895	1,162	30	1,886	1,856
20.9.1	1,395,208	656,115	739,093	-0.036%	-508	-271	858	1,129	-237	1,907	2,144
20.10.1	1,394,806	655,857	738,949	-0.029%	-402	-262	905	1,167	-140	1,688	1,828
20.11.1	1,394,366	655,555	738,811	-0.032%	-440	-440	875	1,315	0	1,738	1,738
20.12.1	1,393,670	655,232	738,438	-0.050%	-696	-567	739	1,306	-129	1,222	1,351
21.1.1	1,392,976	654,990	737,986	-0.050%	-694	-536	813	1,349	-158	1,265	1,423
21.2.1	1,392,029	654,468	737,561	-0.068%	-947	-594	901	1,495	-353	1,286	1,639
21.3.1	1,391,164	653,996	737,168	-0.062%	-865	-557	679	1,236	-308	1,259	1,567
21.4.1	1,385,598	651,094	734,504	-0.400%	-5,566	-513	814	1,327	-5,053	4,158	9,211

3月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月		平11.3	12.3	13.3	14.3	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	20.3	21.3
自然動態	出生者数	1,152	1,007	989	997	909	1,036	854	925	831	844	814
	死亡者数	1,189	1,207	1,127	1,141	1,262	1,279	1,522	1,318	1,296	1,327	1,327
	自然増減数	-37	-200	-138	-144	-353	-243	-668	-393	-465	-483	-513
社会動態	県外からの転入者数	5,445	5,133	4,764	4,170	4,746	4,532	4,133	4,191	3,722	4,045	4,158
	県外への転出者数	11,178	11,241	10,284	10,224	10,366	9,993	10,234	9,790	9,987	9,894	9,211
	社会増減数	-5,733	-6,108	-5,520	-6,054	-5,620	-5,461	-6,101	-5,599	-6,265	-5,849	-5,053

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口（確定値）。

※2 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※3 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

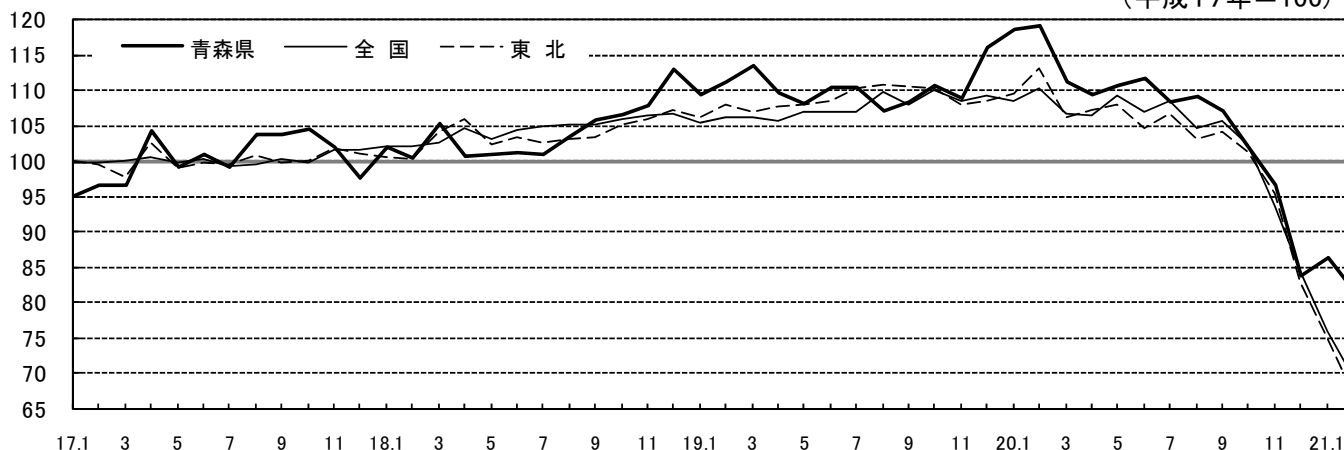
(2-1) 製造業の生産

平成21年2月の青森県鉱工業生産指数（平成17年=100）は、季節調整済指数が81.8で、前月比5.2%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は75.4で、前年同月比33.8%の低下となり、5ヶ月連続で前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きを見ると、鉄鋼業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが上昇に寄与した一方、電気機械工業、一般機械工業、食料品工業などが低下し、鉱工業全体では5.2%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移（季節調整済指数）

（平成17年=100）

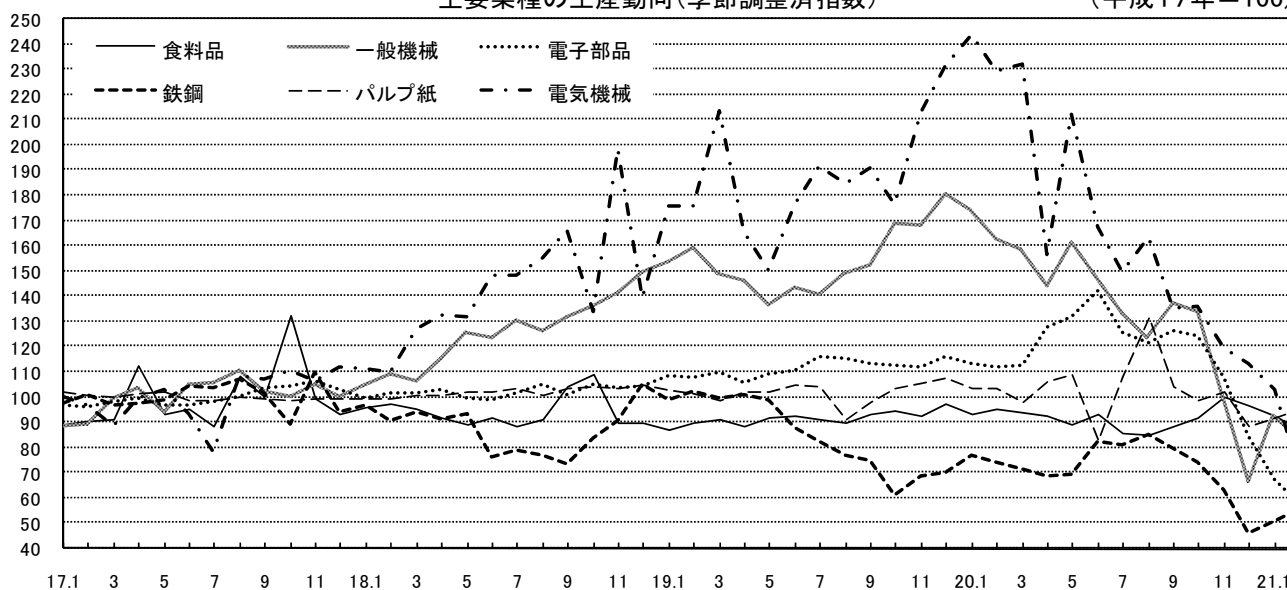


◎業種別動向（前月比） 鉱工業全体 -5.2%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
鉄鋼業	10.1	7.5	電気機械工業	-32.1	-26.5
金属製品工業	8.3	4.8	一般機械工業	-10.1	-17.1
パルプ・紙・紙加工品工業	3.5	3.8	食料品工業	-5.4	-16.1
非鉄金属工業	3.7	1.2	電子部品・デバイス工業	-14.0	-15.1
情報通信機械工業	6.4	0.4	化学工業	-16.4	-12.4

主要業種の生産動向（季節調整済指数）

（平成17年=100）



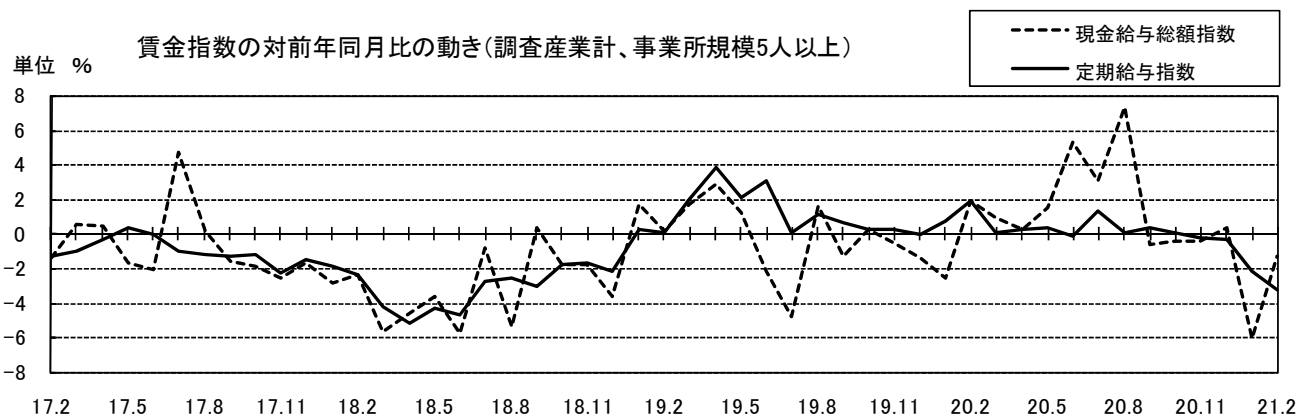
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数（速報）」

(2-2) 雇用情勢

平成21年2月の定期給与は221,875円で定期給与指数(平成17年=100)では96.4となり、前年同月比3.3%減(現金給与総額226,922円、現金給与総額指数83.2、前年同月比1.3%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は84.3となった。

総実労働時間は151.3時間で、総実労働時間指数は95.0となり、前年同月比2.9%減となった。このうち、所定外労働時間は7.6時間で、所定外労働時間指数は76.8となり、前年同月比22.4%減となった。

平成21年3月の有効求人倍率(季節調整値)は0.28倍で、前月と同水準となった。



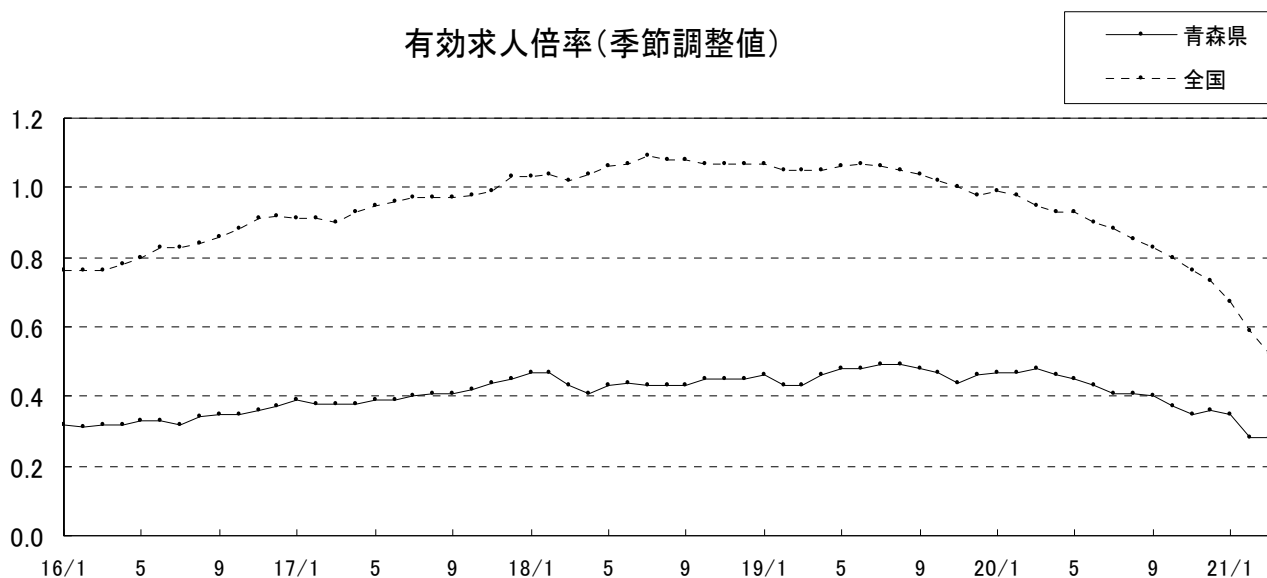
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H17=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	226,922 円	266,239 円	83.2	80.3	-1.3 %	-2.4 %
定期給与	221,875 円	263,056 円	96.4	97.3	-3.3 %	-2.3 %
特別給与	5,047 円	3,183 円	—	—	—	-15.9 %
総実労働時間	151.3 時間	142.3 時間	95.0	94.4	-2.9 %	-5.4 %
所定内労働時間	143.7 時間	133.5 時間	96.2	95.3	-1.6 %	-4.2 %
所定外労働時間	7.6 時間	8.8 時間	76.8	83.0	-22.4 %	-21.7 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料:青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成21年3月の青森市消費者物価指数(平成17年=100)は、総合指数が100.4となり、前月と比べ0.2%の上昇、前年同月と比べ0.9%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は100.1となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ1.2%の下落となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.1となり、前月と比べ0.4%の上昇、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.2%の上昇となった内訳を寄与度でみると、被服及び履物、食料などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ0.9%の下落となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの下落が要因となっている。

図1 総合指数の動き

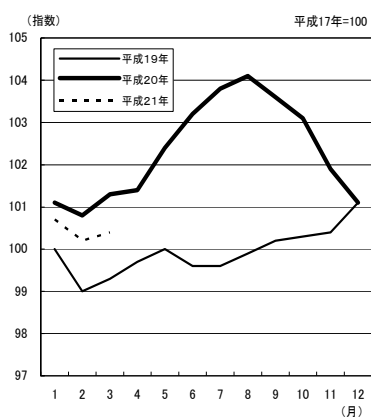


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

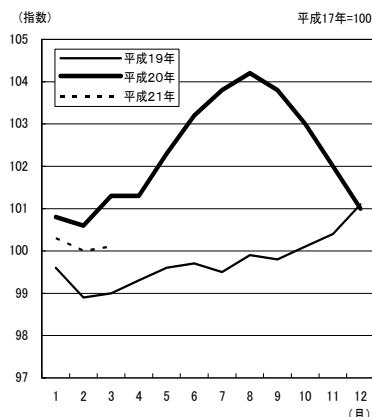
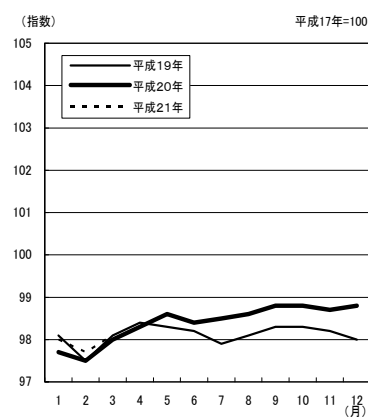


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	服び物	保健医療	交通・通信	教育	教娯	養楽	諸雑費
当月指数	100.4	100.1	100.9	98.1	103.9	105.9	98.9	105.6	96.2	96.3	96.7	97.9	101.9	94.8	101.6		
前月比(%)	0.2	0.1	0.4	0.4	0.6	1.5	▲0.3	▲2.3	▲0.3	6.9	▲1.5	0.6	0.0	1.4	▲0.5		
寄与度	0.20	0.09	0.34	0.25	0.17	0.09	▲0.06	▲0.25	▲0.01	0.25	▲0.06	0.06	0.00	0.13	▲0.03		
前年同月比(%)	▲0.9	▲1.2	▲0.9	0.1	2.9	3.6	▲0.3	▲9.4	0.9	1.4	▲3.3	▲5.6	0.7	0.7	0.3		
寄与度	▲0.89	▲1.12	▲0.75	0.06	0.82	0.21	▲0.06	▲1.08	0.03	0.05	▲0.13	▲0.62	0.02	0.07	0.02		

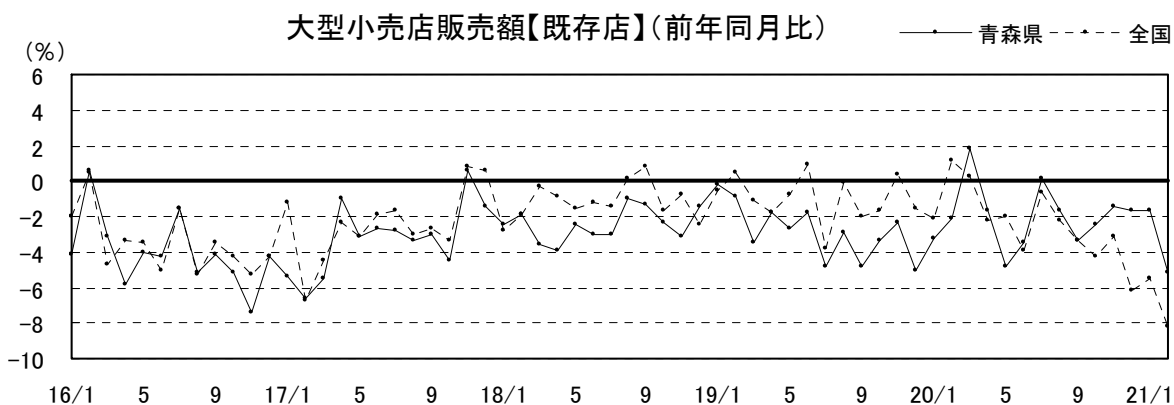
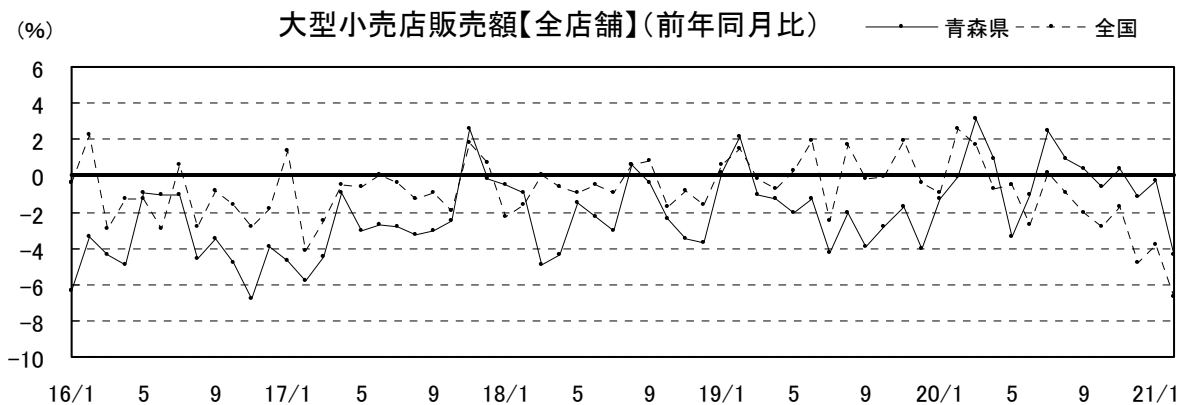
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

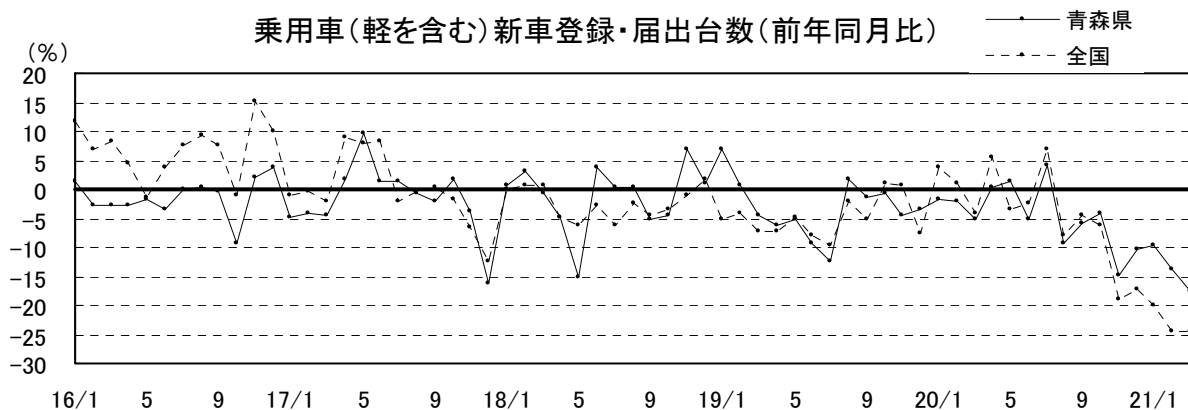
平成21年2月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが128億5千1百万円で前年同月比4.4%減と3ヶ月連続で、既存店ベースでは5.1%減と7ヶ月連続で減少となった。冬物衣料全般が伸び悩んだことから、百貨店は29ヶ月連続で、スーパーは2ヶ月連続して前年を下回った。

平成21年3月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は5,647台で、前年同月比17.7%の減となり、8ヶ月連続で前年を下回った。普通車、小型車、軽自動車いずれも減少したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

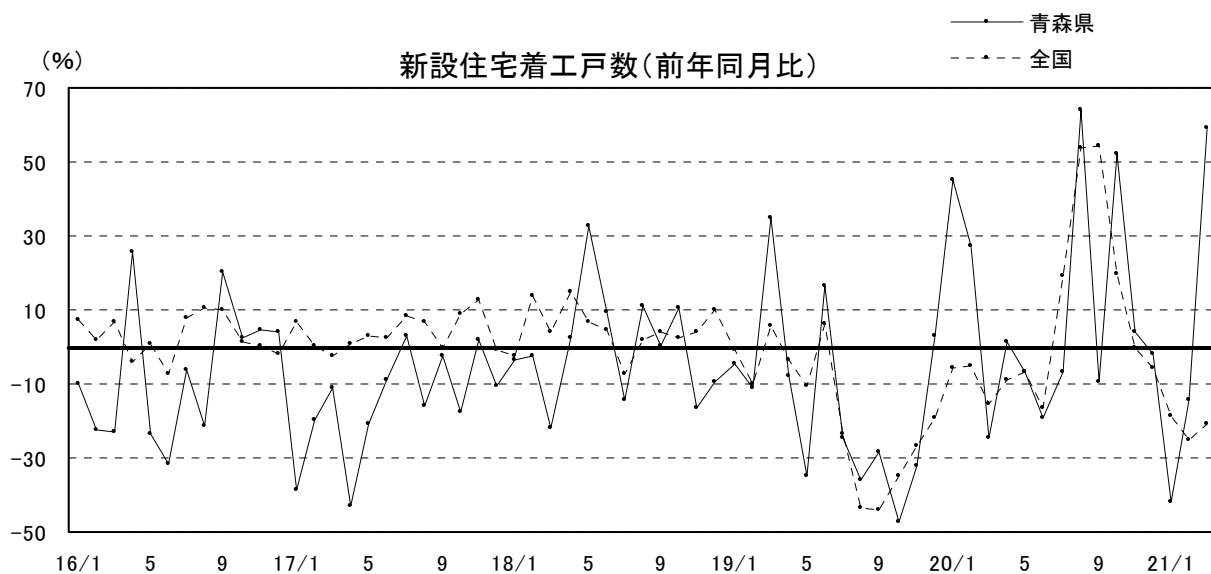
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

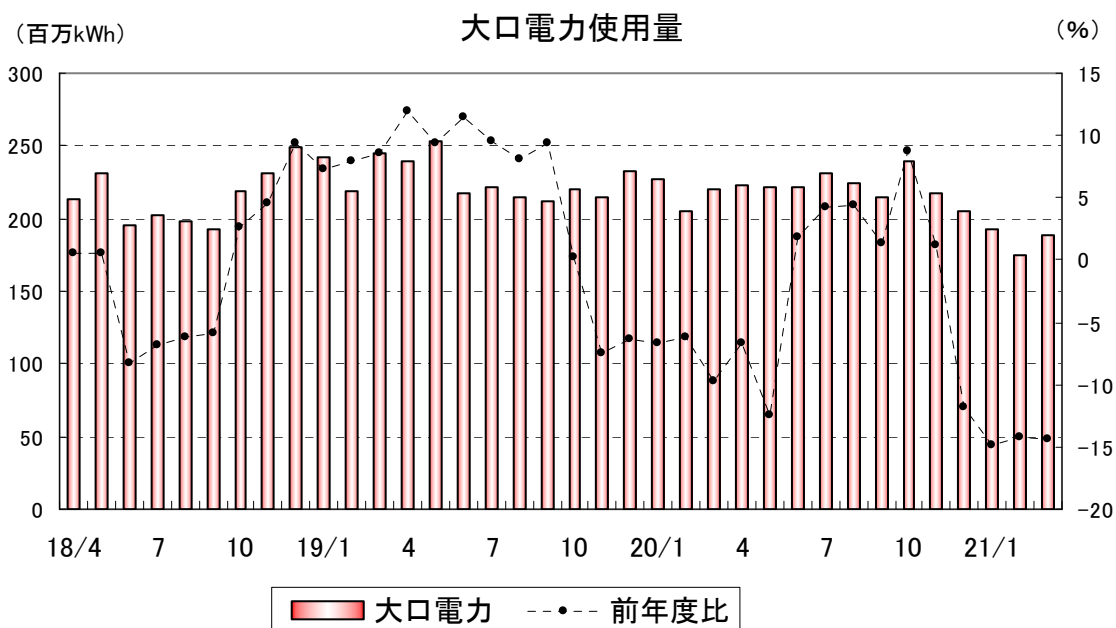
平成21年3月の新設住宅着工戸数は495戸で、前年同月比59.5%増となり、前年を上回った。持家が減少したものの、貸家、分譲が増加したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 電力使用量

平成21年3月の大口電力使用量は1億8,884万kWhで、前年同月比14.4%減となり、4ヶ月連続で前年を下回った。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

(3) 青森県景気動向指数

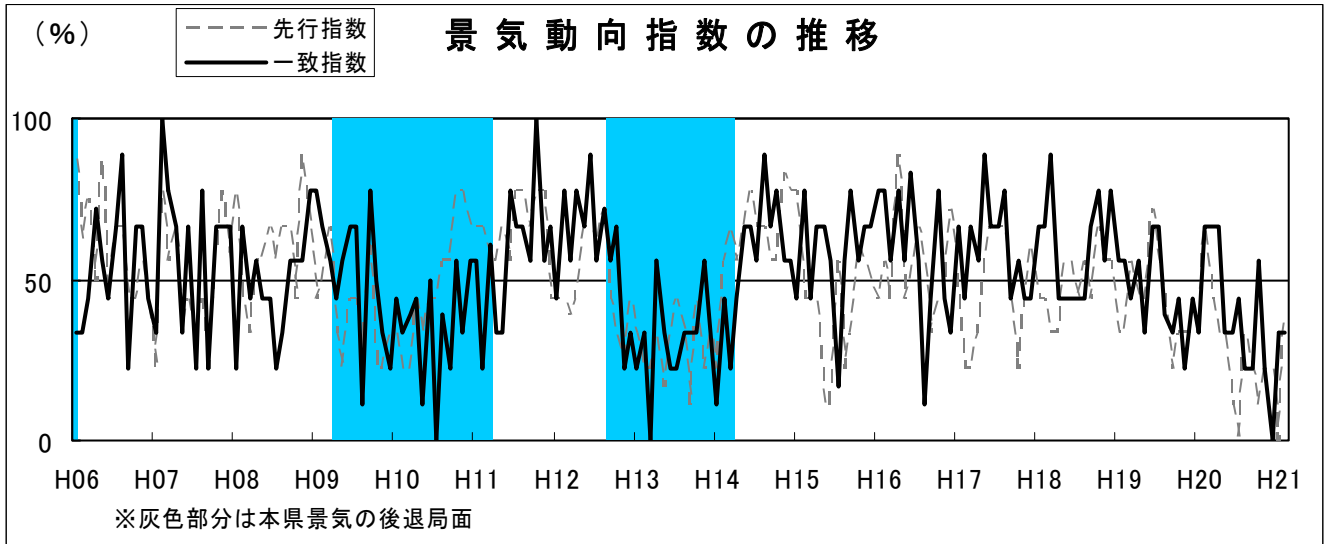
平成21年2月の青森県景気動向指数は、先行指数38.9%、一致指数33.3%、遅行指数16.7%となった。

先行指数は、12か月連続で50%を下回った。

一致指数は、4か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、7か月連続で50%を下回った。

2月の一致指数は消費、生産、雇用関連等の指標がマイナスとなったことから、50%を下回った。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中3指標がプラス）			
入職率（製造業）	2か月ぶり	乗用車新車登録届出数	14か月連続
新設住宅着工床面積	3か月ぶり	生産財生産指数	6か月連続
企業倒産負債額	2か月ぶり	新規求人倍率（全数）	11か月連続
		所定外労働時間指数	10か月連続
		建築着工床面積	5か月連続
※中小企業景況DIは、15か月連続マイナスの後、保合			
一致系列（9指標中3指標がプラス）			
総実労働時間数（全産業）	2か月連続	大型小売店販売額（既存店）	2か月ぶり
海上出入貨物量（八戸港）	3か月ぶり	鋳工業生産指数	10か月連続
東北自動車道IC利用台数	2か月連続	電気機械生産指数	11か月連続
		大口電力使用量	4か月連続
		有効求人数（全数）	17か月連続
		日銀券月中発行高	4か月連続
遅行系列（6指標中1指標がプラス）			
単位労働コスト（製造業）	5か月連続	勤労者世帯家計消費支出（実質）	4か月ぶり
		常用雇用指数（製造業）	18か月連続
		1人平均月間現金給与総額	9か月連続
		輸入通関実績（八戸港）	6か月連続
		青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	4か月連続

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(4) 青森県景気ウォッチャー調査

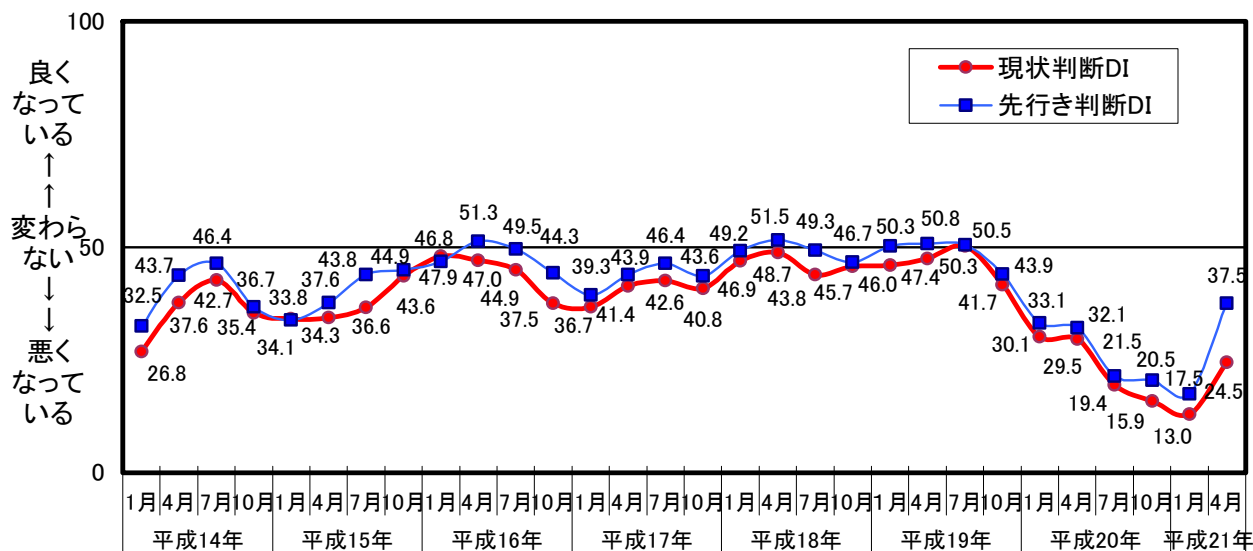
平成21年4月期の景気ウォッチャー調査は、4月1日～4月20日を調査期間とし、回答率は98%となった。

3か月前と比べた景気の現状判断DIは24.5で、前期調査を11.5ポイント上回った。

3か月後の景気の先行き判断DIは37.5で、前期調査を20.0ポイント上回った。

4月期は、景気の現状判断DI、先行き判断DIともに、横ばいを示す50を7期連続で下回っているものの、現状判断DIが平成19年7月期以来7期ぶり、先行き判断DIが平成19年4月期以来8期ぶりに上昇した。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



● 3か月前と比べた景気の現状判断

動 向	<p>前期調査と比べると、「悪くなっている」が24.3ポイント減少、「変わらない」が19.6ポイント増加したことにより、全体では11.5ポイント上昇の24.5となり、景気の横ばいを示す50を7期連続で下回っているものの、平成19年7月期以来7期ぶりに上昇した。</p> <p>判断理由をみると、依然として世界的な経済情勢の悪化による消費低迷、販売不振により、仕事量・売上げが前年同期と比べても低下しているということで、悪い状況のまま変わらないという声が多かったが、一部では春物の販売傾向が良好という声もあった。</p> <p>前期調査に比べて、東青、津軽、県南、下北、全ての地区においてポイントが増加したが、依然として、横ばいを示す50を下回った。</p>
--------	--

● 3か月後の景気の先行き判断

動 向	<p>前期調査と比べると、「悪くなる」が37.7ポイント減少、「変わらない」が27.9ポイント増加、「やや良くなる」が7.2ポイント増加したことにより、全体では20.0ポイント上昇の37.5となり、景気の横ばいを示す50を7期連続で下回っているものの、平成19年4月期以来8期ぶりに上昇した。</p> <p>判断理由を見ると、高速道路料金の引下げ、定額給付金の給付、エコカー減税など景気対策による需要増に期待する声が目立つ一方、逆に、その効果は一時的なものであって将来不安が無くなる訳ではなく、世界的な不況の余波が企業業績や個人消費に悪影響を及ぼしている現在の状況から景気が回復するにはある程度の時間を要するだろうという声が多かった。</p> <p>前期調査に比べて、東青、津軽、県南、下北、全ての地区においてポイントが増加したが、依然として、横ばいを示す50を下回った。</p>
--------	--

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

(参考)景気ウォッチャーによる景気判断理由(一部)

● 3か月前と比べた景気の現状判断理由

○3ヶ月前の1月との比較を考えると消費は比較的上向きになっていると考えられます。相変わらず高額品の動きは鈍いですが来店者数、販売点数も上向き、春物の販売傾向も良好です。消費を抑制した報道が収まったのが大きな要因と思います。(衣料専門店=東青)

□3月末、競合店一店舗閉めたのですが、客数は増えましたが、前と変わらず客単価一品単価が前比95%位です。又、相変わらず、特売品の買回りが目立ちます。(スーパー=津軽)

□悪い状況が変わらないということで大型倒産の影響が出始めているよう。同じ業界でも、倒産、廃業が具体的になってきている。(広告・デザイン=県南)

△例年だと春先から住宅計画進むケースが多いが、今年は全く少ない。買い控え傾向が強く、今の不況の事は必ず言われる。(住宅建設販売=東青)

△1ヶ月周期のお客様が2ヶ月以上遅れている。注文科目もカット+カラーが、カットだけとか単科目になって来ている。街中もめっきり交通量が少ない。(美容院=県南)

△ホテル業ですが、ビジネス関係のお客様の宿泊が減少しています。県内等は日帰り出張が多くなっているのでは?と思います。(都市型ホテル=下北)

×一企業が所有する車両台数が減少し、コスト削減意識が一層浸透している。(ガソリンスタンド=東青)

×予約も入らないし、1人で飲みに来るお客様がいない。会合後のお客様も少なくなりました。(スナック=津軽)

×割引セール等を展開しても、今迄の様な成果がない。日々の売上が確実に減少している。(食料品製造=下北)

● 3ヵ月後の景気の先行き判断理由

○期待を込めて。高速道1,000円や定額給付金で、期待。(新聞社求人広告=県南)

□エコカー減税など、政府のテコ入れがあるようなので、楽しみにはしている。すぐに良くなるわけではないだろうが・・・(乗用車販売=津軽)

□定額給付金が出ても、一時的なもので将来不安が無くなる訳ではありません。財布のひもはなかなかゆるまないと思います。(一般小売店=下北)

□良くなる要素がない。仕事があっても、価格競争が厳しく利益の少ない仕事が多い。(広告・デザイン=県南)

□景気回復策としての国の施策に期待はするが、早期特効薬ではない。業績悪化が続く今日、3ヶ月先の景気回復は見えない。(人材派遣=東青)

△いろいろな業種の人たちと話をする機会があるが、どこも仕事が少なくなってきており、困っている様子が窺える。(旅行代理店=県南)

△燃料価格は下がり安定しているが、不況のあおりで給与の減少やリストラ等での雇用不安があり、金を使えない状況にある。(タクシー=下北)

×現在の景気動向及び県内の失職者数の増加傾向からみて消費者の買い控えがより一層進む事が予想されることから景気回復は見込めない。(商店街=津軽)

×過度なまでの低価格競争、資金力のある大資本企業しか生き残れない構図になりつつある。(食料品製造=東青)

記号の意味:◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、△やや悪くなっている、×悪くなっている

資料: 県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」